



共有すべき事例

疑義照会・処方医への情報提供

オピオイドの中止により不要となった薬剤の中止漏れ



事例

【事例の詳細】

患者にオキシコンチンTR錠とスインブロイク錠0.2mgが継続して処方されていたが、疼痛が改善したためオキシコンチンTR錠が中止になった。スインブロイク錠0.2mgが継続して処方されたため、処方医に疑義照会を行ったところ、スインブロイク錠0.2mgが中止となった。

【推定される要因】

処方医は、オキシコンチンTR錠を中止した際、スインブロイク錠0.2mgを中止することを失念したと考えられる。

【薬局での取り組み】

薬剤師は、スインブロイク錠0.2mgはオピオイド誘発性便秘症に対して使用される薬剤であることを理解して処方監査を行う。



その他の情報

スインブロイク錠0.2mgの添付文書 2022年9月改訂（第2版）（一部抜粋）

4. 効能・効果

オピオイド誘発性便秘症

7. 用法・用量に関連する注意

オピオイドの投与を中止する場合は本剤の投与も中止すること。



事例のポイント

- スインブロイク錠0.2mgは末梢性 μ オピオイド受容体拮抗薬であり、消化管の μ オピオイド受容体に結合し、オピオイドの末梢性作用に拮抗することによりオピオイド誘発性便秘症を改善する薬剤である。
- スインブロイク錠0.2mgはオピオイドの副作用防止のために処方されるため、オピオイドの投与を中止する際はスインブロイク錠0.2mgも中止する必要がある。
- 薬剤師は、薬剤の作用機序などの特性を理解したうえで処方監査を行うことが重要である。そのためには、日頃から薬剤に関する知識を深めておく必要がある。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通） FAX：03-5217-0253（直通）
<https://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。